

低血糖とは？

- ・血糖値が正常な範囲より低くなっている状態を指します。一般的には血漿グルコース濃度が 70mg/dl 未満の場合で、冷汗、動悸、手のふるえをはじめとした下記の症状があるときに低血糖であると診断されます。
- ・薬物治療を受けている患者さんに起こりえますが、多くはインスリンまたはスルホニル尿素薬で治療をされている患者さんに起きます。
- ・低血糖が夜寝ている間に起きた場合は低血糖の症状が現れにくく、「悪夢を見た」、「起床時に頭痛がする」といった症状を示す場合があります。

一般的な低血糖の症状

交感神経刺激症状：発汗、動悸、手のふるえ、不安などが出現します。



中枢神経症状：血糖値が 50mg/dl 程度に低下すると脳のエネルギー不足を反映した症状が出ます。空腹感、眠気、頭痛、目のかすみなどの症状で、さらに血糖値が低下すると意識障害、けいれん、異常行動が出現し、最終的には昏睡に陥ります。

また高齢者の低血糖による異常行動は認知症と間違われやすいので注意が必要です。



低血糖の時の対応

- ・ブドウ糖 10 g またはブドウ糖を含む飲料を 150～200ml を摂取します。砂糖なら倍の 20 g を摂取します。
- ・意識レベルが低下するような低血糖の場合、一時的に回復しても、すぐに再発することが多くあります。低血糖が長引く場合には医療機関で治療を受けることが必要です。

